

学校運営の概要

1 学校の教育目標

目指す学校像

児童が安心・安全に楽しく学ぶ学校・教職員が働きがいを感じる学校・保護者と地域が主体的に関わる学校

児童、教職員、保護者・地域がつながり合い、「笑顔と明るい声があふれる居心地のよい学びの場」を皆で創造する
～自分がつくる みんなでつくる 村椿小学校～

地域と学校の教育目標

地域に学び、個性豊かにたくましく自ら学び行動する子供を育てる

3K教育の推進

徳 助け合う子

1K 協力・勤労・感謝

知 よく考える子

2K 向上・工夫・継続

体 元気でやりぬく子

3K 健康・快活・根気

本年度の重点目標

- 【徳】一人一人の多様性やいのちを尊重し、互いに認め合い、助け合いながらよりよい人間関係を築こうとする子供を育てる。
- 【知】生きて働く知識・技能の確実な習得を目指して継続して取り組み、自己調整しながら学習を進めようとする子供を育てる。
- 【体】自分の生活や心と体の状態を知り、自ら進んで望ましい生活習慣を身に付けようとするたくましい子供を育てる。

豊かな心の育成

- 一人一人の具体的な取組やそのよさ、可能性を積極的に見付け、互いに認め合うことで、明るく居場所のある学級づくり、話しやすい雰囲気づくりに努める。
- 挨拶やあったか言葉、あったかアクション、縦割り活動を積極的に推進する。それを基盤とした人権教育や道徳教育の充実を図る。
- サケの稚魚の飼育や放流等、総合的な学習の時間を中心に据えながら、日々の教育活動を「いのちの教育」の視点から捉え直した教育の充実を図る。
- 黙働による清掃を通して、きれいな環境を自分たちでつくろうとする態度を育む。

確かな学力の育成

- 基礎的・基本的な学習内容の確実な習得を図る指導の充実に努める。
- 自己調整しながら学習を進めることができるような手立てを工夫する（活動の見通しをもたせる工夫・一人一人の問題解決に生きる対話の工夫・考えを分かりやすくまとめる、表現させる工夫等）。
- 一人一人の学習状況を把握し、個に応じた指導の充実に努めるとともに、指導の改善に生かすよう努める。
- 家庭学習の充実、学習用具を揃える指導、ノート指導を通して、学び方の基礎が身に付くように継続した支援を行う。

健やかな体の育成

- 運動の楽しさや喜びを味わえる体育科の授業を充実させたり、業間運動の内容を工夫したりすることで体力づくりに努める。
- 自分の健康を考えた「早寝早起き朝ごはん」「食後・就寝前の歯みがき」の習慣付け、自己指導能力を育む「メディアコントロール」の推進に努める。家庭との連携を図り、心身ともに健康な生活の実践に努める。
- 食物アレルギー等のある児童に対して、家庭と連携して個に応じたきめ細かい指導を行う。

アクションプラン

あったか つばきッズ

(温かい人間関係づくり)

- 強調週間を設け、時と場に応じて気持ちのよい挨拶(あいてをみて・いつでも・さきに・つたえる)を1日5回以上できる児童の割合が90%以上になることを目指す。

きりっと つばきッズ

(「よく考える子」の育成)

- 強調週間を設け、自分の考えを表し(発言、ハンドサイン等)、伝えることができる児童の割合が85%以上になることを目指す。

健康 つばきッズ

(健康づくり)

- 日頃から体力の向上に取り組み、学期ごとに行う体力テスト(握力、上体起こし)において記録が伸びた児童の割合が全体の80%になることを目指す。

安全・安心な学校づくり

- 定期的な安全点検、交通安全の日(毎月1日、15日)の指導等時期に応じた適切な指導の実施に努める。
- 日常的な情報交換を通して、いじめの未然防止、早期発見と適切な対応に努める。
- 「報・連・相とその後の確認」が確実になされる組織づくりに努める。
- 家庭や地域社会との連携及び協働を深め、地域と共にある学校を目指す。
- 保育所・中学校との連携を図り、切れ目のない指導・支援を目指す。